

第16回レファレンス協同データベース事業フォーラム
レファ協というプラットフォーム
—コロナ時代のレファレンス・サービスを考える—
3月19日、オンライン開催のお知らせ

国立国会図書館は、全国の図書館に寄せられた質問と回答の記録など、調べ物に役立つ情報を収録した「レファレンス協同データベース」（レファ協）を運営し、インターネット上で公開しています。また、本事業に関する意見交換の場であり、本事業の更なる普及・発展に資するためのフォーラムを毎年開催しています。

今年度のフォーラムでは、新型コロナウイルス感染症の影響下において、レファ協を含む非来館型のレファレンス・サービスに力を入れている参加館の取組を共有します。また、レファレンス・サービス情報のプラットフォームとしてのレファ協の意義を確認した上で、今後のレファレンス・サービスやレファ協の活用可能性について意見交換を行います。

新型コロナウイルス感染症が社会問題となってから、1年が経過します。日々、状況が変化する中で、図書館サービスの現状や今後に不安や迷いを感じている方も多いのではないのでしょうか。今回のフォーラムが、今後のレファレンス・サービス、そして図書館サービスを考えるヒントになることを願っています。レファ協及び本フォーラムのテーマにご関心のあるすべての方のご参加をお待ちしております。

日 時：令和3年3月19日（金）12時30分～16時55分
開催方法：Web会議システム（Webex Events）を使用して国立国会図書館関西館等からオンライン中継します。
参加費：無料
参加対象：レファ協及び本フォーラムに関心のある図書館員その他一般の方（どなたでもご参加いただけます）
申込方法：下記URLにて詳細をご確認の上、ページ内に設置にされたWebex Events 申込みフォームからお申し込みください。
U R L：https://crd.ndl.go.jp/jp/library/forum_r2_16.html

お問合せ先 国立国会図書館 関西館 図書館協力課 協力ネットワーク係
Tel：0774-98-1475（直通） / Fax：0774-94-9117 / E-Mail：info-crd@ndl.go.jp
○フォーラムを取材される場合は、事前にご連絡をお願いいたします。

プログラム

オープニングスピーチ

「レファ協はプラットフォームか？ 低い、平たい、載せやすい」

おだみつひろ
小田光宏 氏（青山学院大学コミュニティ人間科学部教授）

参加館報告

① 大阪市立中央図書館

ふじもとあきこ
藤本明子 氏（大阪市立中央図書館 利用サービス担当）

② 函南町立図書館

おおはたまい
大畑真依 氏（函南町立図書館 主事（図書館司書））

③ 近畿大学中央図書館

うえのよしえ
上野芳重 氏（近畿大学中央図書館事務部 レファレンス課員）

④ 神奈川県学校図書館員研究会

たごたまき
田子環 氏（神奈川県立厚木清南高等学校司書）

事務局報告「レファ協活用の提案」

国立国会図書館関西館図書館協力課協力ネットワーク係

フリートーク

藤本氏、大畑氏、上野氏、田子氏

コーディネーター 坂井華奈子 氏（独立行政法人日本貿易振興機構 アジア経済研究所
学術情報センター 図書館情報課 課長代理）

レファレンス協同データベース (<https://crd.ndl.go.jp/>)



レファレンス協同データベース
イメージキャラクター れはっち